

2022年6月8日

各位

三井住友信託銀行株式会社

脱炭素グローバル・ベンチャーキャピタル・ファンドへの出資について
～海外における最新脱炭素ベンチャー企業との橋渡しに～

三井住友信託銀行株式会社(取締役社長:大山 一也、以下「当社」)は、脱炭素グローバル・ベンチャーキャピタル・ファンド、Japan Energy Capital 2 L.P.(以下「本ファンド」)に出資することを決定しましたのでお知らせいたします。

本ファンドは、「エネルギーの4D 革命」を目指す ENECHANGE 株式会社(代表取締役 CEO/共同創業者:城口 洋平、2020/12 月マザーズ上場。以下「同社」)が運営に参画し、海外での脱炭素化ベンチャー投資に特化した運用を行う点が特徴です。

同社グループは、エネルギーの「DEREGULATION(自由化)」、「DIGITALIZATION(デジタル化)」、「DECARBONIZATION(脱炭素化)」、「DECENTRALIZATION(分散化)」を推進するエネルギーテック企業であり、ロンドンに本社を置く同社子会社を通じて、ケンブリッジ大学での研究知財を活用した電力データ解析サービスをヨーロッパ、中東、アジアの電力会社に展開しています。

当社は本ファンドへの出資を通じ、海外の先進的な脱炭素・エネルギーテック企業の知見やノウハウを獲得し、日本国内の脱炭素領域での投資活動等に活用していきます。また、本ファンドの出資先となる海外ベンチャー企業が日本進出する際には、当社顧客とのビジネスマッチング等を通じて、各種事業機会における協業可能性についても追求していきます。

当社が属する三井住友トラストグループは、「信託の力で、新たな価値を創造し、お客さまや社会の豊かな未来を花開かせる」をパーパス(存在意義)と定義し、社会的価値創出と経済的価値創出の両立を経営の根幹に掲げています。今後も脱炭素に資する事業や企業を含めた各種インフラ領域において、信託の専門性を活かした社会課題解決型の資金循環を実現していきます。

【本ファンド概要】

ファンド名称	Japan Energy Capital 2 L.P.
運用会社	Japan Energy Capital合同会社(ファンド運営会社) (主要株主:ENECHANGE株式会社)
投資対象	海外における脱炭素テック・環境テックを有するベンチャー企業

以上